

新設トンネル覆工コンクリート 表面保護（凍結防止剤による塩害対策）

新設国道バイパスのトンネル工事において、走行車両からの凍結防止剤の跳ね上げによる覆工コンクリートの塩害対策として、CS-21による表面保護がVE提案され採用された。CS-21は、塗布浸透部分の表層部を緻密化し、水および各種劣化因子の侵入抑制効果を発揮する材料であるため、部分施工にも適用可能である。本件では、凍結防止剤の跳ね上げによる劣化が懸念される範囲（SLより下部）に対し、CSI工法（CS-21・200g/m²1回塗布）により施工を行った。

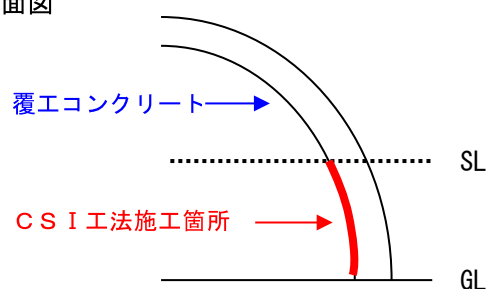


全 景

施工箇所概要

施工範囲 : SLより下部
施工面積 : 約500m²

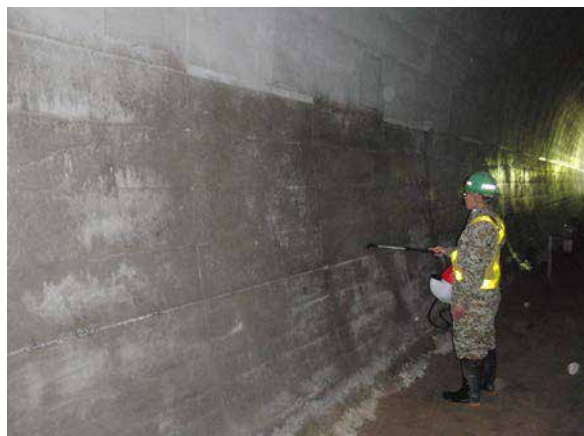
断面図



CS-21 散布状況



CS-21 散布状況



湿潤散水状況



湿潤散水状況